

日本弁護士
連合会

弁政連ニュース

日本弁護士政治連盟

発行/平成19年1月15日
発行人/日本弁護士政治連盟
〒100-0013
東京都千代田区霞が関1-1-3
弁護士会館15階
TEL 03-3580-9933

新年のごあいさつ

日本弁護士政治連盟

理事長

久保井 一匡



新年あけましておめでとうございます。
昨年は、わが弁政連に対しご支援を賜り有難うございました。

お陰様で、わが弁政連の会員も約2000名に達し、支部も12を数えるに至りました。

さて、5年間つづいた小泉内閣が退陣し、多くの国民の期待を担って安倍新内閣がスタートしました。安倍首相は、就任後直ちに中国、韓国を訪問するなど手際の良い立ち回りによってアジア外交の建て直しに希望を持たせています。しかし、内政面では5年間の小泉内閣のもたらした行き過ぎた規制緩和策によって格差社会がもはや放置できないところまで来ています。そのような状況の中でわが日弁連は、国民の基本的人権の擁護と社会正義を守るために今こそ、その力を發揮することが求められます。

昨年は、いわゆる貸金業規制法の改正につきましては大きな成果を上げることができましたが、問題はつきつきと山積みしています。共謀

罪、ゲートキーパー法（弁護士の依頼者密告制度）、少年法改正問題、犯罪被害者の刑事手続参加問題など、いずれも国民の基本的人権に重大な関わりを持つ危険性を包含した立法であり、弁護士会として全力をあげて阻止する必要があります。さらに、より国民的に重要な立法として教育基本法改正、憲法改正国民投票法案など日弁連の意見を十分に反映させる必要があります。

弁政連はいうまでもなく、日弁連執行部をサポートする団体であり、一人でも多くの弁護士が入会していただく必要があります。近年、立法の主導権が官僚から政治家へ移りつつあります。全国各地の国会議員の先生方と日弁連とのコミュニケーションを深めることが急務であります。

本年もどうぞ、弁政連の日常活動に絶大なご支援をいただきますようよろしくお願いします。

新春のごあいさつ

日本弁護士連合会

会長

平山 正剛



新年あけましておめでとうございます。
昨年は、企業が空前の利益をあげている一方で、格差社会がひろがり、様々なひずみや亀裂が生じた憂慮すべき状況でした。

日弁連は、このような世の中であるからこそ、法の支配が一層社会のすみずみにまで及ぼされ、それによって市民の権利が十分に保障されるよう全力を尽くすことが使命であり、市民への責任であると思っています。

昨年10月2日、日本司法支援センター（法テラス）が業務を開始しました。毎日、市民から多数の問い合わせがコールセンター寄せられていることにも、市民の期待があらわれていると感じています。今後は、刑事対応態勢、スタッフ弁護士の確保等の具体的課題を解決していくか

なければなりません。

その他、依頼者密告制度（ゲートキーパー）問題、少年法改正問題、共謀罪問題、憲法改正国民投票法問題等々、多くの課題が本年正念場を迎えます。

日弁連は、これらの課題についての最終的な判断基準を、それは「民衆の利益」を擁護することになるのかに置きつつ、市民の期待に応えられる制度にしていくため積極的に取り組む所存です。

各政党や国会議員の方々に日弁連の主張を理解して頂くための国会対策が、これまで以上に重要なものになると思われます。

貴連盟の一層のご支援とご協力を心からお願いし、新年の挨拶とさせていただきます。

支部からの報告

[仙台支部]

平成9年7月2日設立

支 部 長 鈴木 宏一
幹 事 長 角山 正



仙台支部長

仙台支部活動報告

当支部は、平成9年7月弁政連支部としては一番最初に結成された支部であり、支部会員数は、現在79名である。当支部は、結成以来地元国會議員との意見交換会を継続して開催し、日弁連、仙台弁護士会のその時々の課題について意見交換を続けてきている。これまでの9年間に延べ21人の国會議員との意見交換会が行われているが、今後も意見交換会を中心とした活発な活動を続けていく予定である。

[群馬県支部]

平成9年10月6日設立

支 部 長 高橋 伸二
幹 事 長 石原 栄一



群馬県支部長

群馬県支部活動報告

群馬県は、福田、中曾根、小渕の三総理をはじめ、多くの有力国会议員を輩出していることから支部設置も早く、会員過半数参加して国会陳情、選挙対応、県選出国會議員との懇談会を行い、今後、県内自治体や士業との交流連携等を一層図るべく検討中です。

[埼玉支部]

平成9年12月22日設立

支 部 長 権田陸奥雄
幹 事 長 柳 重雄



愛知県支部長

[愛知県支部]

平成10年4月1日設立

支 部 長 那須 國宏
事務局長 宮寄 良一

愛知県支部活動報告

当支部では、これまで当支部内を選挙区とする弁護士出身の衆・参議院議員の支援を活動の中心に据えてきました。

平成19年2月には、愛知県知事選、小牧市長選に弁護士出身者が立候補予定であり、その推薦と支援を行っています。

[大阪支部]

平成15年7月26日設立

支 部 長 児玉 憲夫
幹 事 長 高村 順久



大阪支部長

大阪支部活動報告

平成15年6月に発足した当大阪支部は、設立当時は会員も90名足らずであったが、その後逐次加入者も増加し、現在136名となっている。しかし、所属弁護士数が3千名を超えた大阪弁護士会の規模からすると弁政連加入の弁護士が少なすぎるので、加入者の増強を図っているところである。この1年間の活動としては、昨年7月実施の衆議院総選挙における推薦活動（推薦議員中5名が落選）のほか、元法務大臣保岡興治氏との意見交換会、ゲートキーパー問題について民主党所属衆議員との意見交換会（弁護士会からの要請活動を兼ねる）等を行っている。共謀罪、G K問題等今後とも国會議員に要請すべき課題も多いので、引き続き活動を充実すべく努力中である。

[東京本部]

平成16年1月15日設立

本 部 長 尾崎 純理
幹 事 長 栢木 敏明



東京本部長

地元東京の課題に取り組む

23区を管轄する東京簡裁調停部門が、本年7月にも霞ヶ関から東のはずれの錦糸町に移転します。都議、区議との連携のもと、西の新宿にも簡裁を置くよう、裁判所に働きかけを強めております。地元密着型司法改革の展開です。

[京都支部]

平成16年3月24日設立

支 部 長 谷口 忠武
副 部 長 塚本 誠一
事務局長 吉川 哲朗



京都支部長

京都支部活動報告

京都支部の活動の最重要事項は、京都弁護士会と①地元選出国會議員、②京都府議会議員、③京都市議会議員との懇談会の開催です。

今年度は、6月3日に国会議員、7月8日に府議会議員、6月17日に京都市議会議員との懇談会を、それぞれ、全ての党、会派の参加の下に開催することができました。ゲートキーパー問題、金利問題の理解を得るために、効果的な話し合いが出来ました。

[神奈川支部]

平成16年11月25日設立

支 部 長 小林 嗣政
幹 事 長 尾立 孝司



神奈川支部長

神奈川支部活動報告

当支部では、愛称を「明日への会」とし、会報の発行や催し（平成18年は国会見学会）を行って、会員の拡充を図り、会員は現在114名（横浜弁護士会会員の12%）となった。神奈川県内選出の国会議員のパーティやシンポジウムへの出席、国会要請を始め、他士業の政治連盟との交流会等、支部活動も盛んに行っている。

[四国支部]

平成16年12月10日設立

支 部 長 佐長 彰一
事務局長 川崎 達夫

[静岡県支部]

平成17年1月29日設立

支 部 長 勝山國太郎
幹 事 長 河村 正史

[広島支部]

平成18年1月28日設立

支 部 長 古田 隆規
幹 事 長 中根 弘幸



広島支部長

広島支部活動報告

司法改革を実のあるものにするためには、国会議員との連携が必要であるとの認識から、昨年9月、弁政連広島支部の

立ち上げの機運が熟し106名の会員を集めて本年1月28日に久保井理事長をはじめ、県選出の国会議員をお招きして設立総会を開催した。その後は、国会議員との接触を保ちながら、現在は月1度のペースで理事会を開いている。また、緊急性のある、ゲートキー問題に対する国会議員との協議をするべく、広島弁護士会のワーキンググループに勉強会を申し入れているところ。理事者の意見としては、全国的な運動を展開するには、やはり弁政連本部が日弁連とともにリーダーシップをとっていただくことを強く望んでいるところである。

[札幌支部]

平成18年8月30日設立

支 部 長 後藤 徹
副支部長 藤田美津夫



札幌支部の誕生

2006年8月30日に開催した設立総会で、札幌支部が発足いたしました。設立総会の後、久保井理事長をはじめ4人の本部役員、14名の政党代表・衆参議員のご参加をいただいて祝賀会を開催することができました。札幌支部も、各政党、国会議員と弁護士・弁護士会の相互理解に役立つ活動をしてまいりたいと存じます。これまでのご支援に感謝申しあげますとともに、皆さまの一層のご支援とご協力をお願ひいたします。

札幌支部設立報告

弁政連札幌支部設立される

去る平成18年8月30日（水）夕刻、ワイトン札幌2階ミンプレスホールにおいて、弁政連札幌支部設立総会並びに祝賀会が開催された。

支部としては、第12番目に設立された支部である。高裁所在地のうち、支部が存しないのは北海道地区だけであったため、その設立が長らく待たれていたので、ようやく最後に設立された札幌支部誕生の喜びはひとしおであった。

入会した会員数は64名、総会出席者は30名であった。総会は、後藤徹発起人代表の挨拶で始められ、来賓として久保井一匡弁政連理事長、小寺正史道弁連理事長が祝辞を述べた。岩本勝彦会員が議長となり、札幌支部規約を承認のうえ、後藤徹支部長、藤田美津夫副支部長ほかの役員が選任された。

祝賀会には、10名余の国会議員が出席し、後藤支部長挨拶、久保井理事長祝辞のほか、横路孝弘衆院副議長並びに各党代表者の祝辞が述べられた。三羽正人副理事長の乾杯によって懇談に入り、終始なごやかな祝賀会となった。藤本明札幌弁護士会会长の挨拶を受けたのち、小寺道弁連理事長の中締めをもって閉会した。

各政党別朝食会開催報告

平成18年中に開催した各政党との朝食会は以下のとおり。朝食会には、日弁連からは会長・全副会長・事務総長・事務次長、弁政連からは在京正副理事長・正副幹事長が出席。

開催月日	政党名	懇談テーマ	政党側出席者	日弁連・弁政連側出席者
2月15日	自民党	①未決拘禁制度問題、②取調の可視化問題、③ゲートキーパー問題、④教育基本法問題	森山真弓司法制度調査会会长外16名の衆参国會議員	梶谷剛日弁連会長・久保井一匡弁政連理事長及び平山正剛次期日弁連会長外32名
2月16日	公明党	①未決拘禁制度問題、②ゲートキーパー問題、③取調の可視化問題、④教育基本法問題、⑤憲法改正国民投票法案	神崎武法代表、浜四津敏子代表代行、冬柴鐵三幹事長外13名の衆参国會議員	梶谷剛日弁連会長・久保井一匡弁政連理事長及び平山正剛次期日弁連会長外33名
2月24日	民主党	①ゲートキーパー問題、②取調の可視化問題、③教育基本法問題	前原誠司代表外16名の衆参国會議員	梶谷剛日弁連会長・久保井一匡弁政連理事長及び平山正剛次期日弁連会長外39名
6月9日	自民党	①ゲートキーパー問題、②裁判員制度実施に向けての条件整備問題、③日本司法支援センター問題	森山真弓司法制度調査会会长外16名の衆参国會議員	平山正剛日弁連会長及び久保井一匡弁政連理事長外26名
6月14日	公明党	①ゲートキーパー問題、②裁判員制度実施に向けての条件整備問題、③日本司法支援センター問題	神崎武法代表、浜四津敏子代表代行、冬柴鐵三幹事長外12名の衆参国會議員	平山正剛日弁連会長及び久保井一匡弁政連理事長外24名
7月13日	民主党	①ゲートキーパー問題、②日本司法支援センター問題、③上限金利問題	鳩山由紀夫幹事長外13名の衆参国會議員	平山正剛日弁連会長及び久保井一匡弁政連理事長外26名
10月17日	自民党	①ゲートキーパー問題、②日本司法支援センターに対する取組問題、③金利引き下げ問題	白井日出男司法制度調査会会长外14名の衆参国會議員	平山正剛日弁連会長及び久保井一匡弁政連理事長外32名
11月2日	民主党	①ゲートキーパー問題、②日本司法支援センターに対する取組問題、③行政法制度に関する第二次改革への要望	中井 治常任幹事会議長外14名の衆参国會議員	平山正剛日弁連会長及び久保井一匡弁政連理事長外31名
11月8日	公明党	①ゲートキーパー問題、②日本司法支援センターに対する取組問題、③行政法制度に関する第二次改革への要望	太田昭宏代表、浜四津敏子代表代行、井上義久副代表、北側一雄幹事長外13名の衆参国會議員	平山正剛日弁連会長及び久保井一匡弁政連理事長外31名
11月29日	国民新党	①ゲートキーパー問題、②日本司法支援センターに対する取組問題、③行政法制度に関する第二次改革への要望	綿貫民輔代表、亀井郁夫副代表、亀井久興幹事長外2名の衆参国會議員	平山正剛日弁連会長及び久保井一匡弁政連理事長外24名
12月1日	共産党	①ゲートキーパー問題、②日本司法支援センターに対する取組問題、③行政法制度に関する第二次改革への要望	志位和夫委員長、市田忠義書記局長、石井郁子幹部会副委員長、緒方靖夫幹部会副委員長外11名の衆参国會議員	平山正剛日弁連会長及び久保井一匡弁政連理事長外26名
12月5日	社民党	①ゲートキーパー問題、②日本司法支援センターに対する取組問題、③行政法制度に関する第二次改革への要望	福島瑞穂党首、渕上貞雄副党首、照屋寛徳副党首外3名の衆参国會議員	平山正剛日弁連会長及び久保井一匡弁政連理事長外26名

弁政連活動日誌 (9)

自 平成18年1月1日
至 平成18年12月31日

1月15日	弁政連ニュース第8号刊行	9月27日	安倍内閣発足にあたり、弁政連推薦議員で閣僚就任者に祝電を打つ
26日	弁護士出身議員との懇談会	29日	在京正副理事長会議
27日	在京正副理事長会議	10月13日	中国弁連大会に久保井理事長・安藤幹事長出席
28日	弁政連広島県支部設立総会に久保井理事長・安藤幹事長・鈴江副幹事長・事務局が出席	17日	自民党との朝食会
2月15日	自民党との朝食会	20日	中部弁連大会に久保井理事長・安藤幹事長出席
	在京正副理事長会議	27日	九弁連大会に久保井理事長・安藤幹事長出席
16日	公明党との朝食会	11月1日	事務局会議
24日	民主党との朝食会	2日	民主党との朝食会
3月16日	在京正副理事長会議	8日	公明党との朝食会
6月2日	在京正副理事長会議	在京正副理事長会議	
9日	自民党との朝食会	10日	四国弁連大会に久保井理事長・安藤幹事長出席
	理事会	17日	近弁連大会に久保井理事長・安藤幹事長出席
14日	公明党との朝食会	29日	国民新党との朝食会
7月7日	東北弁連大会に久保井理事長・安藤幹事長出席	12月1日	共産党との朝食会
13日	民主党との朝食会	4日	弁政連ニュース編集会議
	在京正副理事長会議	5日	社民党との朝食会
8月30日	弁政連札幌支部設立総会に久保井理事長・三羽副理事長・安藤幹事長・事務局が出席	12日	久保井理事長・安藤幹事長、沖縄弁護士会訪問
9月22日	関弁連大会に久保井理事長・安藤幹事長出席	15日	在京正副理事長会議

編集後記

昨年は新しい首相が誕生した節目の年でした。変化の予感がありますが、日本の将来をどのような方向へと舵を取るのでしょうか。

(あんどう)

安倍政権が誕生し、政府の取り組み課題は経済（構造改革）から、教育、格差、

少子高齢化、雇用など様々な具体的な社会問題に正面から取り組むべきことが求められている。司法改革も法科大学院、法テラスがスタートし、裁判員もあと2年余で実施。これから生んだ制度を育てる責任が弁護士・弁護士会にある。これからが正念場。

(こばやし)

2006年秋冬、「政党との朝食会」を6党と行われた。弁政連の活動の「かたち」ができた。

(うすい)

政党との朝食会で、それまで漠然として各政党や議員に対して有していたイメージが一新されるような感想を持つた。裁判でも、直接主義は重要だと思う。

(すずえ)

主要6政党との朝食会では、どの政党からも、このような懇談の機会を今後とも継続的に設けて欲しいと要請されました。私達としても、是非そうしたいと意を強くしております。

(よしなり)

朝食会の開催等を通じて、日弁連・弁護士と政党・政治家との間をつなぐ弁政連の役割・活動は益々重要だと思います。

(とちぎ)